

令和 7 年 6 月末現在における山岳遭難の発生状況（暫定値）

年	発生件数 (件)	遭難者数（人）				
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出
R7 ※暫定値	14	16	0	0	8	8

鹿児島県内における山岳遭難の発生状況（令和 2 年～令和 6 年）

年	発生件数 (件)		遭難者数（人）			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出
R6	42	48	3	1	20	24
R5	41	47	3	2	20	22
R4	26	27	2	0	12	13
R3	32	34	2	0	17	15
R2	33	35	3	0	14	18

【令和 6 年の発生状況】

遭難者総数48人中

○ 場所別では

屋久島山系が18人で最多、次いで開聞岳が10人、霧島山系が 9 人、その他の山岳が11人

○ 態様別では

道迷いが14人で最多、次いで転倒が 7 人、滑落・病気が各 6 人、このほか、疲労など

○ 年齢層別では

60代が13人で最多、次いで40代が11人、70代・50代が各 8 人、80代・20代が各 3 人、30代・10代が各 1 人

となっています。

